

---

# 合宿です！！全員集合！！

みさメロン

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

合宿です！！全員集合！！

### 【Nコード】

N4907Z

### 【作者名】

みさメロン

### 【あらすじ】

スマブラメンバーが合宿を行います！

時には楽しみ、時には悲しみ、時にはみんなと戦い！！！！

なんと、SEGAからも合宿参加するキャラが……！！？

恋の行方は誰のもの……？そして別れるとき……。。  
スマブラの合宿の様子をご覧あれ！！！！

**合宿の始まりです！（前書き）**

初の投稿となります！！

まだまだ未熟なのですが見てくれたら幸いです！！

それでは始めます！！！！！！

## 合宿の始まりです！

ある日の事・・・

ある人物、二人が話をしていた。

？「なあ、左。またあれでもしないか？」

？「おい、右よ、どうしたんだあ？」

右「マスター 左「クレイジー

マスター「だーかーらーあれだつて」

クレイジー「・・・。あああ！あれか？」

マスター「そう、あれ」

クレイジー「UNOかあ？」

マスター「・・・」

クレイジー「あら？違った？」

マスター「全然違うわああー！！！」

クレイジー「冗談・・・通じねーのかよお」

マスター「お前な・・・」

クレイジー「わーかってるって！あれだよな？」

マスター「・・・言ってみろ」



場所は変わり……………

？「兄さん、手紙が届いてるよ」

？「なんだ？手紙で喜んでのかあ？」

？「いやいや、手紙で喜んでるわけじゃ……………」

？「まあ、お前の事などどうでもええわ」

？「ひどいよ……………、兄さん……………」

自称ミスター任天堂のマリオと永遠の二番手と呼ばれるが影が薄いルイージが話をしていた。

ルイージ「作者……………、影が薄いは余計だか……………」

マリオ「だまれ、ルイージ！！出してくれるだけでありがたいと思え！特にお前は……………」

ルイージ「作者も兄さんひどいや……………」

落ち込むルイージ（……………？）を無視し、マリオは封筒からあるものを出した。

マリオ「招待状……………ルイージお前……………」

ルイージ「どうせ僕なんか・・・、僕なんか・・・！」

マリオ「ああ、精神的ダメージが大きい・・・」

うん、あれは普通だ。大丈夫！！

マリオ「・・・。いや、あれ普通？・・・ルイージ、お前にも招待状が来てるぞ」

ルイージはマリオから自分の招待状を取った。

ルイージ「ほんとだ！！！！・・・ってこれ・・・」

マリオ「スマブラ合宿の招待状じゃないか!？」

ルイージ「ええええええ!?!?またあのおんボロの家で・・・?」

マスター「おんボロで悪いな!!！」

マリオ「えつと前に行ったのはいつだっけ?」

ルイージ「確か・・・7ヶ月前かな?Xメンバーで行ったときだよ」

マリオ「またXメンバーか?まあリストラ組はいらんけど・・・。」

リストラ組「リストラ組とかいうなあー!!！」



マリオ「ぶえくしょん!!なんかリストラ組の声が・・・?んなわけないか!」

ルイージ「兄さん、早く準備しないと!」

**合宿の始まりです！（後書き）**

いかがでしたか？短くてすみません・・・。

感想お待ちしております！どうぞ遠慮なく言ってください！

これからも見てください！よろしくです！！ みさメロン でした。

合宿へ・・・Let's GO!?(前書き)

2話目！突入！

あんまりおもしろく無いかも・・・。  
スマブラメンバー「いらん事をいうなあ!!!!」

合宿へ・・・Let's GO!?

ここは・・・？

そう、ここは・・・終点だ。

Xメンバーはもちろん全員・・・。

ん？あ、あれは・・・！！

リストラ組！！！！！！？？

リストラ組「作者もリストラ組っていうなあー！！！」

いや、だってほんとのことやん！！！！v ) (ニヤッ

リストラ組「うう・・・」

マスターは今回の目的を話す。

そんな説明途中で突然真っ白な光に包まれた。

全員「目がっ……!!」

光が……

消えた……。

光が消えた後、一人の少女が立っていた。

? 「痛たたたた……。あ、あれ?ここはどこ?」

? 「ここは、終点よ」

スマブラメンバーの一人の女性が答えた。

彼女の名はサムス・アラン。バウンティハンターである。(今は、ゼロスーツサムス)

? 「終点……?あれ、思い出せない……」

サムス「えっ!?記憶喪失!?!」

? 「……いえ、そうではないのですが……」

? 「あれ! ? アルルか! ?」

? 「えっ・・・? 君は・・・、ソニック・・・!! ?」

ソニック「どうしてこんなところにいるんだ?」

アルル「えっと・・・」

サムス「ちよつとまって! なんでソニックが知ってんの?」

ソニック「ああ、スマン。こいつはアルル。オレと同じSEGAなんだ」

アルル「あ・・・うん・・・」

サムス「同じSEGA・・・へえ〜。あつ、話続けて」

アルル「え・・・、はい。ソニックに用があつて家を訪ねただけど・・・。

『スマブラ合宿があるため外出してるぜ』って書いてあつて。スマブラに参戦してるのは

聞いているんだけど・・・。スマブラの世界ってどんなのかと思つてたら突然光に包まれて

気付いたらここに・・・」

サムス「なるほどね・・・」

ソニック「で、オレに用事があったんだろ？なんだ、その用事って？」

アルル「……。ごめん、忘れちゃったよ」――；タラタラ

ソニック「おいっ!!」

サムス「一応、記憶喪失ではないのね……」

アルル「えっと……ぼくこれからどうすれば……?」

サムス「マスター元の世界に送ってあげたら?」

マスター? 「嫌だ」

サムス「なんで!?!」

マスター? 「めんどいから。ってか、俺マスターじゃねーし」

全員（アルルを除く）「えっ!!?!?」

マスター? 「俺はクレイジーだっ!!」

全員（アルルを除く）「……」







アルル「改めまして、ぼくはアルル・ナジャ。SEGAの『ぶよぶよ』の世界から

来ました。よろしく願いします」

全員「よろしく〜」

そうして、合宿に参加する事になったアルル。

？「(あの子、かわいいなあ〜)」

This is Marth. (こちらはマルスです。)

なぜ英語!?

アリティア王国の王子です。

マルス「(あの子も合宿するんだ。。。チャンス!!)」

？「何考えてんだ、マルス？」

マルス「わっ、ア、アイク！」

アイク「変な事考えるなよ？お前、女いるじゃん・・・」

マルス「シーダの事？」

シーダ「タリス王国の王女、マルスの婚約者。ここでは、シーダの片思いっていう設定です。」

アイク「ああ」

マルス「別に僕が好きじゃないし……。まさか、アイクも狙ってる、あの子？」

アイク「はあ？」

マルス「はあ？じゃない!!！」

アイク「女なんか興味ねえよ」

マルス「じゃあ、手出さないでよ？」

アイク「……………」

マルス「でもアイク、妹いるのに……………」

アイク「バカ!!俺はミストとシスコンじゃない!!！」

マルス「そんな事は言っていないけど……………?ってか、よくシスコンの意味知ってたね!」

アイク「シスコン言うな!!！」

合宿へ・・・Let's GO!?(後書き)

これで2話目も終了了！

感想、くださいー！

どしどし指摘くださいー！悪いところがあれば直します。

## 部屋割り（前書き）

更新遅くなりすみません・・・！！

の、わりには短いかも・・・。

部活・・・、執行委員のスピーチ原稿書いたりとか・・・

はい、言い訳にしか聞こえませんかよね・・・

では、始まります！！

## 部屋割り

クレイジー「んじゃ、移動すつぞ〜」

クレイジー「着いたぞ」

全員「!?!?」

ルイージ「めちゃくちゃでかい・・・、それにキレイ・・・」

クレイジー「今回は、改築したばかりのこの宿(？)で住んでもらう」

アルル「あ〜」

クレイジー「ん?どうした?」

アルル「ぼく荷物無いんですけど・・・?」

全員「・・・」

クレイジー「ああ、それならマスターにいえば大丈夫だ」

アルル「は、はぁ・・・」

?「おお、来たか!」

全員（アルルを除く）「マスター!?!」

マスター「ようこそ、ファイターたちよ・・・」

アルル「この人がマスター・・・?」

マスター「・・・?君は?」

アルル「は、はい!?!」

マスター「なぜこんなところに?」

アルル「ぼ、ぼくはアルル・ナジャ。突然、真っ白な光に包まれ、  
終点という場所にとばさ

れて・・・。帰る方法がわからずみなさんと一緒に合宿参  
加する事になっただんです」

マスター「なるほど・・・」

アルル「・・・」

マスター「まあ、よかるう。君にも参加してもらおう」

アルル「あ、ありがとうございます」

マスター「では、部屋割りはこのようになってるからな

(なぜこんなところに他社の者が?)」

『部屋割り』 このようになってます

A マリオ、ルイージ、ドンキー、デイディー、コング、ヨッシ  
I、

キャプテン・ファルコン

特にない・・・(笑)まあ、仲が良さそう(?)組

B クッパ、ワリオ、ガノンドルフ、スネーク

悪っぽい・・・(スネーク以外)

C ロボット、カービィ、メタナイト、デデデ、Mr.ゲーム  
&ウオッチ

なんか普通の人いねーな!

D フォックス、ファルコ、ウルフ、ソニック

ここ人いねえー!動物やん!!

(狐、鳥、狼、ハリネズミ)(笑)

E ピカチュウ、ルカリオ、プリン、ピチュー、ミュウツー  
ここは、ポケモン組

F トウインリンク、ポポ(アイスクライマー)、オリマー、  
レッド(ポケモントレーナー)、ネス、リュカ  
ここは子供組?

G リンク、ピット、マルス、アイク、ロイ



ここは、剣士組かな？

H ピーチ、ゼルダ、サムス、ナナ（アイスクライマー）、ア  
ルル

ここは・・・女組ですね

カービー「メタナイトは剣士組に入らないのぉ？ピットって剣士組  
」？

（まあ、メタナイトと一緒にだから変えてほしくないけど・・・  
）」

作者「んとね。ウチ、考えたんだ」

カービー「何を？」

作者「1頭身なんかいらんでしょ？つて！（笑）」

メタナイト「作者・・・。やっていいか？」

作者「えっ・・・。ええええええー！！？」

メタナイト「最後の切りふだ！ギャラクシアダークネス！！」

作者「だから待てー！ー！ー！！！！つぎやー！ー！ー！！！！」

作者「メタナイトファンの方、申し訳ありませんでした．．．」

作者は全治二ヶ月の大怪我を負いました．．．。 嘘ですけど．．．

全員「当たり前！ー！！」

## 部屋割り（後書き）

どうでしたか・・・っていいところないですね・・・（汗）

こんなんでも感想を書いてくれたら嬉しいです！

今日、逃走中だった・・・

- いつか合宿内で逃走中やろっかなと思ってみようとってたのに・・・

特別編 プレゼントを渡しに part 1 (前書き)

相変わらず更新遅くてすみません！

ぶよぶよの新作のやつにはまっつてしもつて……。  
ペアでぶよぶよおもしろ〜い！

ウィッチとシエゾの会話がおもしろくて好き〜!!!

ウィッチ「あなたが欲しい。ですわ！」

シエゾ「な、何を言っているんだ!？」

ちなみに・・・

サタアルとシエアルどちらが好きですか？

ウチはシエアルです！

シエゾ「ヘンタイって言うな!!！」

アルル「まだ、言っていないよお？」

かわいい〜です!!!

サタン「愛の勝利だ!!！」

アルル「違っつてばあ!!！」

話が長くなりました……。

それでは、特別編です!どうぞ!!!

特別編 プレゼントを渡しに part 1

作者（みさメロン）「では、クリスマスという事でプレゼントを配ろうと思います！」

？「ああ、ここかな？」

みさメロン 「ああっ！来た来た！ゆうたん！こっちこっち！」

ゆうたん「こんにちはー」

みさメロン 「今回は特別編という事で『スマブラX・ぷよぷよ7で逃走中』

を書いてるゆうたんに来てもらいました！！」

ゆうたん「ねえ、ところで今回の企画は？」

みさメロン 「『クリスマスということなのでウチらがサンタになりプレゼントを

あげよう企画』です！」

ゆうたん「長いなあ・・・」

みさメロン 「もちろん、この人（？）の力を借りますよ！？」

？「出番遅い・・・」

みさメロン 「悪い、悪い・・・」

ゆうたん「つと言つ訳で僕とマスターが加わり3人でプレゼントを渡しに行きます!」

みさメロン「マスターはそのプレゼントを作る役です。いわゆる雑用係?」

マスター「はあー?雑用係なわけ無い!!むしろ重要だろ!??」

みさメロン「ごめん・・・、口が滑った・・・(笑)」

マスター「お前な・・・!!」

ゆうたん「まあまあ・・・」

みさメロン「マスター、魔法を使えるようウチとゆうたんに魔法かけて!!」

マスター「なんでだ?」

みさメロン「ウチはラッピング魔法、ゆうたんには・・・、手紙を思いのままに表せる

魔法を!」

マスター「人の話を聞けー!」

みさメロン「そもそも、あんたは人ではないー!」

ゆうたん「・・・確かに・・・(笑)」

マスター「笑うな!!」

みさメロン「まあ、いいから。早く!!」

マスター「仕方ない・・・」

みさメロン & ゆうたん「ヤッター!!」

現在 22:00

みさメロン「じゃあ、役割はOK?」

- 1、マスターがプレゼントを作る。
- 2、みさメロン がラッピングする。
- 3、ゆうたんがサンタからという手紙を書き、置く。

みさメロン「これでいい?」

ゆうたん&マスター「OK・・・」

みさメロン「では、これで寝ている人を捜しその家からプレゼントを

渡していくよ!」

マスター「それも、私がつk」

みさメロン「まず1件目!」

ピピプー!」

ゆうたん「えーと、リュカの家だね」

みさメロン「子供だから寝るの早いね。マスター、ワープ!」

マスター「なぜ私が・・・?」

みさメロン「なんか言っただかなー?」

マスター「いえ・・・」

特別編は12月24日。

本編は8月1日。

なぜ8月って?それは本編の話考えたのが8月だから!  
その時はまだ登録してなかったからね!



みさメロン 「到着！」

ゆうたん 「僕たちは姿を消してるから、見られることは無いし、しやべっても

聞こえないから大丈夫！」

みさメロン 「えーと手紙・・・、欲しいものが書いてある手紙ー  
ー」

ゆうたん 「あつたよ！」

みさメロン 「なになに・・・。『臆病にならない薬』？」

ゆうたん 「なんかリユカらしい・・・？」

みさメロン 「・・・まあいい！マスターでは・・・」

マスター 「ぶつぶつ・・・」 呪文的なものを唱えてる・・・

マスター 「はあああ！！！」

とそこに薬が入った小瓶が出てきた。

みさメロン 「次はラッピング魔法ー！」

とキレイにラッピングされたものが・・・

ゆうたん 「最後に3人サンタからの手紙だよー！！！」

と思いをそのまま表した手紙が出来た。

みさメロン 「よし！リユカへのプレゼント終わりー！」

ゆうたん 「次、行こーーうー！」

みさメロン 「次はネスの家に！」

ゆうたん 「来てまーす！！！」

マスター 「（私が一番疲れる・・・）」

みさメロン 「なんか思ってる？マスター？？」

マスター 「いや、何も・・・（なぜわかる!?!）」

ゆうたん 「ネスはバットとヨーヨーだって」

みさメロン 「新しいのにしたいのかな？」

3つの事をし、ラッピングされたバットとヨーヨー。手紙を付け加えて

みさメロン & ゆうたん 「終わりー！！！」

みさメロン 「あぁー！書くのめんどくさい！..」

ゆうたん 「と言う訳なそうなので...」

みさメロン 「申し訳ないが省きます!!」

ゆうたん 「次回にそれぞれ、誰が何を頼んだか」

みさメロン 「説明して逝こうと思います!!」

ゆうたん 「逝こうと思います!!」

みさメロン 「あらあ？ウチもゆうたんも天国に逝っちゃうね!!」

みさメロン &ゆうたん 「ハハハハハ!!」

マスター 「バカか...?こいつら...」

みさメロン &ゆうたん 「うっさい!!だまっつけ!!」

マスター 「.....」

特別編 プレゼントを渡した party (後書き)

今回は少し長かったです！

こんなので感想、評価などしてくれたら嬉しいです！！！！！！

それでは次の話まで・・・！！  
頑張って更新します！！

特別編 プレゼントを渡した part2 (前書き)

特別編の2話目です

特別編 プレゼントを渡しに part 2

みさメロン 「前回の引き続きです……。というけどいちいち軒一軒

まわるのめんどくさいので省略します!!」

ゆうたん「でも、誰が何を頼んだかは発表していきますよ!」

みさメロン 「しかし!時々どんな様子だったかお伝えして逝こうと思います!」

ゆうたん「だから漢字!天国に逝っちゃうよ!?!」

みさメロン 「すみません……」

ゆうたん「まあ、始めていきますかね?」

みさメロン 「Yes!!」

まず前回の……

- 1、リュカ 臆病にならない薬 (リュカ……それはないやろ……)
- 2、ネス バットとヨーヨー (ネスらしい)

のところで終わりました。

みさメロン 「まわった順は……。もう決めるのめんどくさいからキャラクター

つていきます」

選択の左端から（マリオ、ルイージ……）とや

ゆうたん「めんどくさがり屋？」

みさメロン 「そー、かもね……」

と言う事で3件目は『マリオ』プレゼントは……

『超レアスーパーキノコ』

みさメロン 「どんなキノコ……？」

ゆうたん「さ、さあ……？」

続いて4件目！『ルイージ』プレゼントは……

『影が薄くならない薬』

みさメロン 「…………。これ飲んじやったらルイーダのいいところ無いじゃん!」

ゆうたん 「確かに…………。てか薬シリーズ第2弾(笑)」

5件目! 『ピーチ』プレゼントは……

『マリオ』

みさメロン 「…………(笑)」

ゆうたん 「…………(笑)」



マスター「……う、これはどうすると……?」

みさメロン「どうしようか……?」

ゆうたん「もういつそのことマリオを転送すれば……?」

みさメロン「もう、そうしよう……。マリオのプレゼントも送るんだよ?」

マスター「……わかった」

6件目! 『クツパ』プレゼントは……

『ギガクツパ』

みさメロン「……。えーと……?」

ゆうたん「スマッシュボールあげれば……? 威力は弱め、時間も短めにして」

みさメロン「うん、そうしよう」

7件目！『ドンキー』プレゼントは……

『バナナ300本』

みさメロン & ゆうたん「うん、なんとなくわかった……」

8件目！『デイディーコング』プレゼントは……

『バナナ200本』

みさメロン & ゆうたん「うん、ドンキーと一緒にだと思ったよ」

9 件目！『ヨッシー』プレゼントは……

『大量の食べ物』

みさメロン & ゆうたん「もう、だいぶわかってきた……」

10 件目えー！『ワリオ』プレゼントは……

『金』

ゆうたん「えーとっ？」

みさメロン「図書カードにしよう！」

ゆうたん「なんで？」

みさメロン 「一応金だよ！本しか買えないけど・・・さっ！ワリオ  
だし!？」

ゆうたん 「それならいいね!!」

11件目! 『リンク』プレゼントは・・・

『ゼルダに想いを伝える薬』

みさメロン 「出ました!!薬シリーズ第3弾!!」

ゆうたん 「出ましたね!!」

12件目! 『ゼルダ』プレゼントは・・・

『リンク』

みさメロン 「ピーチと同じかいっ!!」

ゆうたん 「なら、リンクの元に転送だね!」

みさメロン 「リンクのプレゼントほとんど意味無い……。両想いだし」

ゆうたん 「そうだね・・・」

13件目『ガンドルフ』プレゼントは……

『スマッシュボール×30』

みさメロン 「30個!!!?」

ゆうたん 「かなり威力の低いもの30個でいいんじゃない?」

みさメロン 「そうだね!!ってことで、マスター」

マスター「つ、疲れる・・・」

みさメロン「うーん

頑張っ  
て」

マスター「・・・（これがあと何回続くんだ・・・？）」

みさメロン「ってことで次回に続くよー！！」

特別編 プレゼントを渡した part2 (後書き)

感想、評価ください!!!

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n4907z/>

---

合宿です！！全員集合！！

2011年12月25日23時55分発行